



三川小学校のスローガン **よく学び、よく遊べ！そして助け合う三川っ子！**

「幸せになる まほうの言葉」とは…



『ありがとう』これは僕が好きな言葉だ。いつだれに教わったかは思い出せないが、当たり前のように小さい頃からよく使っている。だれかに何かをしてもらったとき、自然と口から出している言葉。だれもが知っていて、言われるとうれしい気持ちにしてくれる。…」

この文章は、6年 * * * * さんの読書感想文の書き出しです。まさに、私が日頃から、三川っ子に伝えている「まほうの言葉『ありがとう』」について、書いてあります。

そして、以下のように続きます。

「良い未来に進みたいなら、良い言葉を使い、感謝にあふれた人生に進みたいなら、感謝を口にする。その中でも、『先出し感謝』というものがあるそうだ。」

「先出し感謝！」なんて、素晴らしい言葉なのでしょうか。

* * さんの読書感想文は、こう続きます。

僕は野球をやっていて、チームを引っ張る最高学年として日々頑張っている。毎日練習に励んでいるが、いざ試合になり、ピッチャーとしてマウンドに立ち、バッターと向き合うと緊張する。でも、打たれた時は頼れる守備がいてくれる。ピンチの時に救ってもらえると、本当にありがとうと思う。だから僕も『先出し感謝』を伝えたい。試合の前に、『いつもありがとう。今日もよろしく。』そんな一言をかけることができれば、僕のプレーが変わると思う。仲間がいるから僕は野球ができること。『おかげさま』も忘れずに頑張っていきたい。



きっと、先出し感謝をした日の試合は、全員が気持ちの良いゲームになったと思います。

次に感想文は、別の話題に移ります。

「僕には弟がいて、弟は父が運転する車で出かけると、到着したときに大きな声で『ありがとう』と言う。僕も、野球の送迎の時は必ず『運転ありがとう』と言う。僕が小さい頃から母が必ず言っていたから、自然と口にするようになった。弟は母や僕が言うのを聞いて覚えたのだと思う。」

ご家族の方も、子どもの「ありがとう」を聞いて、それまでの疲れが吹っ飛んだことでしょう。家族の笑顔が浮かんできます。

そして、最後に、こう結んでいます。

「感謝の感染力は強く、その広がりや年齢も性別も職業も超え、あなたとあなたの周りにいる人たちを幸せにすることができるそうだが、まさにそうだ。」と…

本当にその通りだと思います。「先出し感謝」、是非とも、本校で流行らせて、感謝の気持ちを広げていきたいと強く感じました。ご家庭でも、話題にさせていただき、さまざまな場面で流行らせてください。今以上に、「ありがとう」が響き合う家庭・学校・そして地域を目指していきたいと考えています。

さて、読書感想文は、他にも1年からそれぞれ、学校代表としてコンクールに出品し、6名とも佳作を受賞しました。

1年：* * * * さん 2年：* * * * さん
3年：* * * * さん 4年：* * * * さん
5年：* * * * さん

この5名の作品も、読み応えのある感想文でした。どの児童も、本の世界から学べるさまざまなことを吸収してほしいと願っています。



校長 * * * *

9月の読書賞

9月の読書賞は、2年****さん、4年****さん・****さん、5年****さん・****さん、6年****さんが受賞しました。



10月27日～11月9日は、秋の読書週間です。秋の夜長、ご家族で家読(うちどく)を楽しんでみてください。

草集めボランティア集合!

10月3日(金)から、不定期に、グラウンドの草集めボランティアを募集しています。刈った後の枯れ草を、一輪車やリヤカーに山盛りに積み、草捨て場所まで運んでいきます。進んでこの活動に参加し、グラウンドをきれいな状態にするため、協力して働く児童の姿に感動しています。



引き続き、多くの学年児童に協力者が増えていくことを、心から期待しています。



地図名人は君たちだ!



第1回地図名人甲子園を、9月25日(木)に実施しました。2名の児童が見事満点を取り、昇段しました。

<二段>(6年) ** **さん
<初段>(5年) ** **さん

体力テスト

9月26日(金)と30日(火)は、体力テストでした。児童は自分の体力と向き合い、全力で各種目に取り組みました。

今年度は、地域学校協働活動の一環として、保護者ボランティアの方々にお手伝いをいただきました。本当にありがとうございました。シャトルランで、下学年児童の伴走を引き受けた高学年児童の姿が、とても頼もしかったです。



9月の暗唱名人



9月中に暗唱名人になった8名の児童の皆さんを紹介します。

1年: ****さん・****さん
2年: ****さん
3年: ****さん
4年: ****さん・****さん
****さん・****さん

4～9月までの課題でも、受け付けていますので、奮っての参加をお待ちしています。

周囲を気遣う心



先日、いつもは職員室に、大きな声で報告に来る1年女子児童2人が、急に小声になりました。「どうして急に小さな声になったの?」と聞くと、「だって、先生が電話をしていたから。」と答えました。1年生が、相手のことを考えてここまで行動できるなんてすごいと思い、「誰かが電話をしていたら声を小さくした方がいいって、誰に教わったの?」と聞くと、「誰にも教わっていない。2人で考えて、声を小さくした方がいいと思ったからそうした。」というのです。その場の状況を考えて、自分の行動を適切に変えるなんて、ますます素晴らしい! 子ども達の言動に感動する毎日です。